

a. 子供の頃の夢は色褪せない落書きで
 思うまま書き滑らせて描く未来へとつながる

澄み渡る空 果てしないほど青く
 無邪気な心に 充たされ魅かれてく

b. やがて自由に飛びまわれる翼を手に入れて
 無垢な瞳は求めてく 空の向こうへ行きたいな

c. 止め処ない願いから 一つだけ叶うのなら
 誰にも譲りたくはない 夢を掴みたいと思うよ

子供の頃の夢は色褪せない落書きで
 いつまでも描き続けられた 願う未来へとつながる

鐘が鳴る音 遠くから聞こえてくる
 素直な心に 届いては響いてる

光りは七色に変わって 弧を描いてゆく
 無垢な瞳は求めてく 虹の向こうへ行きたいな

d. 止め処なく願うほど 忘れないでいたいこと
 支えてくれる人がいて 夢を見ることができるから

a. b. c. d. a. 子供の頃の夢は色褪せない落書きで …

a. こどものころのゆめは いろあせないらくがきで
子供 頃 夢 色褪 落書

おも うまま かきすべらせて えがく みらいへとつながる
思 書 滑 描 未来

すみわたるそら はてしないほどあおく
澄 渡 空 果 青

むじゃきなこころに みたされひかれてく
無邪気 心 充 魅

b. やがてじゅうにとびまわれる はねをてにいれて
自由 飛 翼 手 入

むくなひとみはもとめてく そらのむこうへ いきたいな
無垢 瞳 求 空 向 行

c. とめどないねがいから ひとつだけかなうのなら
止 処 願 一 叶

だれにもゆずりたくはない ゆめをつかみたいとおもうよ
誰 譲 夢 掴 思

こどものころのゆめは いろあせないらくがきで
子供 頃 夢 色褪 落書

いつまでも かきつづけられた ねがうみらいへとつながる
描 続 願 未来

かねがなるおと とおくから きこえてくる
鐘 鳴 音 遠 聞

すなおなこころに とどいてはひびいてる
素直 心 届 響

ひかりは なないろにかわって こをえがいてゆく
光 七色 変 弧 描

むくなひとみはもとめてく にじのむこうへ いきたいな
無垢 瞳 求 虹 向 行

d. とめどなくねがうほど わすれないでいたいこと
止 処 願 忘

ささえてくれるひとがいて ゆめをみることができるから
支 人 夢 見

a. b. c. d. a. こどものころのゆめは いろあせないらくがきで …
子供 頃 夢 色褪 落書